

2022年度卒業生に対するアンケート・意見聴取

【アンケート】(大学)

- 対象: 合同企業説明会(2023年2月14日)に参加した卒業生
- 実施方法: アンケート用紙に記入
(説明会内で回答を得られなかった場合は、後日郵送で提出)
- 回答者
25社中、4社に勤める卒業生4名(在職年数1~6年)

【意見聴取】(短期大学部)

- 実施方法: インタビュー(実施日は3名とも別日)
- 回答者: 2社に勤める卒業生2名(在職年数4年)
卒業後に大学に編入学した卒業生1名



1、アンケート結果

(1) 卒業後の社会人生活において役立っている経験値教育の5つの力をそれぞれ5段階評価する。

【5つの力】①主体性、②コミュニケーション力、③気づく力、④協働する力、⑤考える力
【評価指標】5 大変役立っている、4 役立っている、3 普通、2 あまり役立っていない、
1 役立っていない

- ①主体性は1名が役立っている、3名が普通と評価している。
- ②コミュニケーション力は、1名が大変役立っている、2名が役立っている、1名が普通と評価している。
- ③気づく力は、3名が役立っている、1名が普通と評価している。
- ④協働する力は4名全員が役立っていると評価している。
- ⑤考える力は、1名が役立っている、3名が普通と評価している。



(2) 在学中に身につけておけばよかったと思う能力を選択

【能力】①主体性、②コミュニケーション力、③気づく力、④協働する力、⑤考える力
⑥専門分野に関する知識・技能、⑦外国語(英語など)の語学力、⑧日本語
力・文章作成能力、⑨パソコン技能

- (1)の設問において、主体性とコミュニケーション力が大変役立っているとした2名は、この設問においても同じ力を選んでいる。さらに、2名ともに専門分野に関する知識・技能も選択している。
- 事務職として勤務している卒業生は、⑧日本語能力・文章作成能力と⑨パソコン技能を選択している。選択した理由(自由記述)に、仕事をする中で、技能の必要性を感じていると記している。

(3) 今後学びたいと思う知識

【知識】①リーダーや管理職になるための知識、②マーケティングに関する知識、③起業に関する知識、④資格取得のための知識、⑤ビジネスマナーに関する知識、⑥英語などの外国語に関する知識、⑦その他

- 4名中3名が、①リーダーや管理職になるための知識と⑥英語などの外国語に関する知識を選択している。
- 4名中2名が、②マーケティングに関する知識と⑤ビジネスマナーに関する知識をそれぞれ選択している。



2、意見聴取結果

(1) 学生生活における学びについて

- 学生寮での生活において、規律や人間関係づくり、後輩への指導など、社会で生きる基本を学ぶことができた。

(2) 役立っている学びについて

- パソコンの基礎知識及び能力が仕事や学習に活かされている。
- 取得した資格を活かした仕事に就いている。
- 社会人マナー、スケジュール管理、働くための心構えを就職前に学べたことが大変役立っている。
- 接客・接遇やコミュニケーション力が必要なアルバイトにおいて、授業で学んだことが活かされた。

- インターンシップでは、実際に業務を経験することができ、仕事内容を理解するとともに、働くということを考える機会ともなった。
- インターンシップでコミュニケーション力やプレゼンテーション力が身についた。
- 学科での学びを通して、さらに学びたいという意欲がわき、進学を決めた。

